

「滋賀県広報戦略」の策定について

1 策定の背景

I C Tの進展により情報入手の方法が多様化してきている中、県政情報を正しく迅速にすべての県民に伝えることが困難になってきている。また、自治体間の競争が激化してきているとともに、コロナ禍を経て応答性のある県民との対話が求められている。

これらの広報を取り巻く情勢の変化に的確に対応するため「滋賀県広報戦略」を策定し、全庁で共有・実践することにより、応答性を備えた県政を構築するとともに、滋賀の魅力の発信に努める。

2 広報戦略の概略

1 現状・課題

- ① 県民の意見やニーズの的確な把握
- ② 受け手に伝わる情報発信
- ③ 滋賀の魅力等の効果的な発信

2 戦略を推進するための基本的な考え方

(1) 目指す姿

- ① 県民の意見やニーズがよりの的確に把握され、県政に反映されている。
- ② 受け手に伝わる情報発信により、県政の取組や課題への理解が深まっている。
- ③ 滋賀の魅力が発信され、滋賀に住む人・訪れる人・関わる人が増加している。

(2) 重視する視点

- ① 広報D Xの推進
- ② 情報発信力の最大化

3 戦略を推進するための具体的取組

- ① 県民の意見やニーズの県政への反映
 - 取組1 より広い県民の声の収集
 - 取組2 可視化による県民意見等の的確な把握
 - 取組3 県政への反映、県民との共有
- ② 県民の理解と信頼を得る広報
 - 取組1 伝わる広報となるための工夫・改善
 - 取組2 受け手に届く媒体を活用した情報発信
 - 取組3 県民等との協働の推進
 - 取組4 職員の技能の向上
- ③ 「選ばれる滋賀」となるための情報発信
 - 取組1 魅力のある情報素材の発掘
 - 取組2 効果的な情報発信

4 取組期間等

(1) 取組期間

令和3年度から令和6年度までの4年間 ※D X推進戦略、総合戦略

(2) 取組を検証するための参考指標

世論調査結果や総合戦略に定めるK P I を活用